

危険

有害ごみ(乾電池・リチウムイオン電池等)の分別の徹底をお願いします

市内で回収したプラスチックごみに電池が混入していたことから、日本容器包装リサイクル協会指定処理施設で資源化処理中に発火する事故が、8月～11月の間で7件発生しています。火災や爆発等の事故が発生すると、一定時間リサイクル処理が滞り、作業員の方の怪我や施設を損壊する可能性も高く、非常に危険です。

多くの充電式の製品には、リチウムイオン電池が入っています。乾電池やリチウムイオン電池などは、透明か半透明の袋に入れて、有害ごみとして出してください。なお、小型家電やおもちゃなどに入っている電池は取り出してください。電池が取り出せない場合は、「電池あり」と袋に表記し、燃やさないごみとして出してください。また、ボタン電池や充電式電池は市では回収していません。回収を行っている販売店にお持ちください。ご理解・ご協力をお願いします。



市内で回収したプラスチックごみに混入され発火した電池類

リユース

リサイクル事業所をご活用ください

市とシルバー人材センターは、ごみの減量および資源化の推進、ごみ問題に対する市民の意識向上を図るため、新たに「リユース事業に関する協定」を締結し、リユース品の受付・販売を行っています。リユース可能な品をお持ちいただければごみの減量にもつながりますので、ぜひ、ご活用ください。

所 リサイクル事業所 (中町3-19-16)

■営業時間 月曜・火曜・水曜・日曜 午前10時～午後4時 ※祝日営業(12月28日～1月3日は除く)

他 販売品目などの詳細についてはお問い合わせください

問 リサイクル事業所 (☎080-5893-3196)、シルバー人材センター (☎042-383-6141)

リユース リサイクル



小金井発 資源物のゆくえ



市では、日ごろからごみの減量・資源化の推進へのご理解・ご協力を市民および事業所の方々にお願いしています。皆さんに分別していただいた資源物が、市で回収後、どのようなものにリユース・リサイ

クルされているのか、主なものをご紹介します。

※下記は令和元年11月時点の状況です。内容は今後変更する場合があります

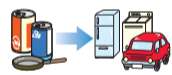
● ペットボトル

市が運営する資源物処理場で選別後、(公財)日本容器包装リサイクル協会を通じ、リサイクルを行う事業者へ引き渡され、たまごパック、衣類などに、また、一部は民間処理施設で市ボランティア袋にリサイクルされています。



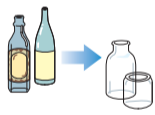
● 空き缶・金属

アルミ缶やスチール缶、金属は市が運営する資源物処理場で選別後、民間処理施設で、アルミ缶やスチール缶は自動車部品、機械部品などに、金属は建築材料などにリサイクルされています。



● びん

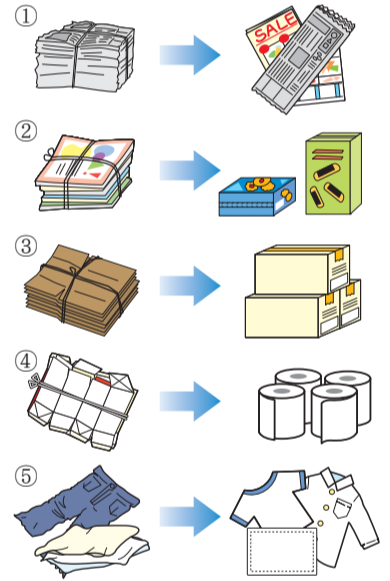
民間処理施設で、繰り返し使用できるびんは洗浄し、傷などをチェックした後、再使用します。その他のびんは原料まで戻し、新たなびんなどにリサイクルされています。



● 古紙・布

民間処理施設で、一例として次のようにリユース・リサイクルされています。

- ①新聞紙→新聞、ちらし
- ②雑誌・ざつがみ→お菓子の箱
- ③段ボール→段ボール
- ④紙パック→トイレットペーパー
- ⑤布→海外などで再使用、ウエス(工業用ぞうきん)、反毛材料



リユース リサイクル

外国語版ごみ分別のチラシを作成しました

英語・中国語・韓国語に対応したごみ分別のチラシを作成しました。ごみ対策課(市役所第二庁舎4階)で配布するほか、市ホームページからダウンロードできます。

ぜひご活用ください!



粗大ごみのお申し込みはお早めに

年末は粗大ごみの申し込みが多く、受け付けから収集までに日数がかかりますので、早めに準備して申し込んでください。申し込みは、粗大ごみ受付センターまたはごみ対策課窓口(市役所第二庁舎4階)で受け付けます。なお、粗大ごみの収集は、有料で申し込み制です。

＜ご利用の流れ＞

- ①品目・個数・大きさを確かめてお申し込みください。その際、手数料と収集予定日をお伝えします
 - ②手数料分の粗大ごみ処理券(シール)を処理券取扱店などで購入してください
 - ③品物ごとにシールを貼って、収集予定日の午前8時30分までに建物敷地内の収集しやすい場所に出してください
- ※品目によっては市で収集できないものがあります。必ず事前にお問い合わせください

※年内収集の最終申込日は12月20日(金)です

問 粗大ごみ受付センター(☎042-387-9829=午前8時30分～午後5時15分。土曜・日曜日、年末年始を除く)